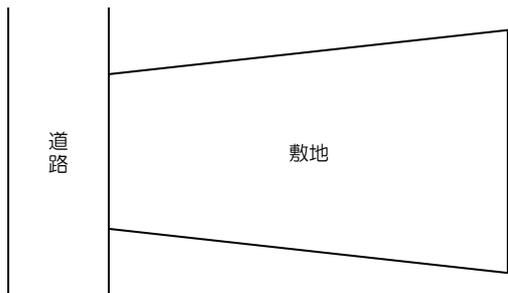


5-1 路地状敷地の形状について

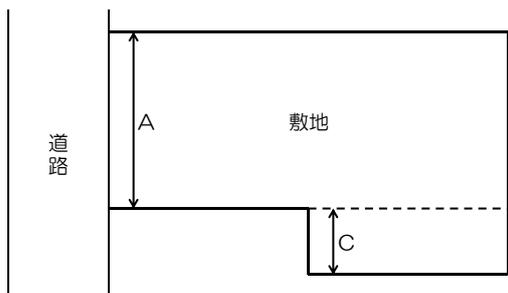
東京都建築安全条例における路地状敷地の形状についての取扱いを、以下のとおり定める。

以下の1から4のいずれかの形状に該当する敷地については、路地状敷地として扱わない。

1 台形等で、路地状部分がない敷地

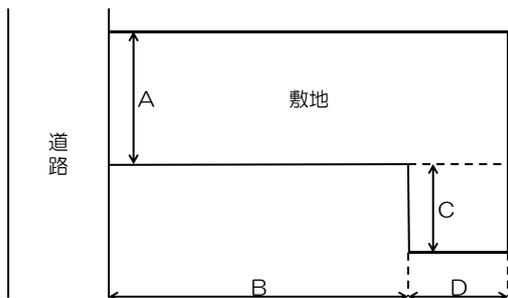


2 路地状部分の幅員が、奥の部分と比べて十分に広い敷地



$$C \leq A/2$$

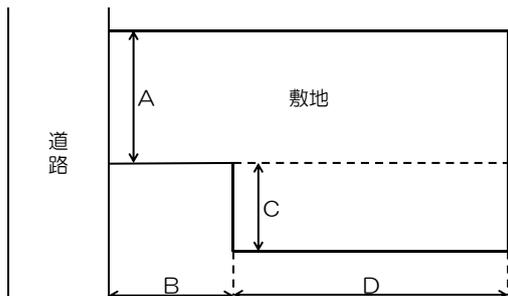
3 路地状部分が、奥の敷地の部分と比べて大きい敷地



$$A \geq D$$

$$B \geq C$$

4 路地状部分の幅員が広く、長さが短い敷地



$$A \geq C$$

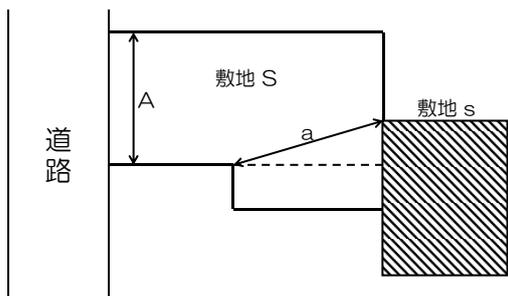
$$B \leq D$$

前ページに該当しない複雑な形状の敷地については、以下の取扱いにより判断する。

前提として、 (敷地 s) を除いた部分で検討し、前ページのいずれかの形状に該当することを確認する。

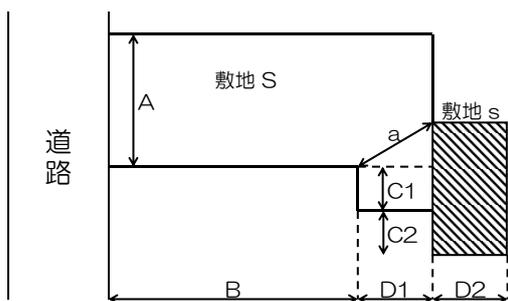
次に、 (敷地 s) を含めて検討し、以下の②から④のいずれかに該当する場合については、路地状敷地として扱わない。

② 前ページの2を前提とした敷地



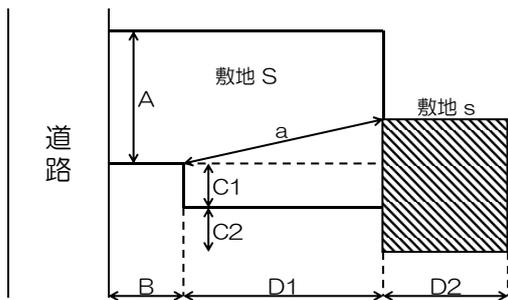
$$\begin{aligned} A/2 &\leq a \\ a &\geq 4\text{m} \\ S &\geq s \end{aligned}$$

③ 前ページの3を前提とした敷地



$$\begin{aligned} a &\geq 4\text{m} \\ A/2 &\leq a \\ A &\geq D1+D2 \\ B &\geq C1+C2 \end{aligned}$$

④ 前ページの4を前提とした敷地



$$\begin{aligned} a &\geq 4\text{m} \\ A/2 &\leq a \\ A &\geq C1+C2 \\ B &\leq D1+D2 \end{aligned}$$

関連条文	東京都建築安全条例第3条, 第3条の2, 第10条
参考	